

平成26年度 第22回国際資源学部執行部会議議事要旨

日 時：平成27年2月12日（木）17：00～18：45

場 所：国際資源学部会議室

出席者：佐藤学部長（議長）、宮本、安達、今井、藤井各委員

欠席者：柴山委員

議 事

1. 第18回、第19回、第20回、第21回執行部会議議事要旨の確認

第18回、第19回、第20回、第21回執行部会議の議事要旨が確認された。

2. 教員の任期更新について

学部長から資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

3. トリサクティ大学地球科学部との覚書について

学部長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、一部字句を修正することで了承された。なお、字句の修正については、学部長一任とすることとなった。

また、ハサヌディン大学との覚書は締結しない旨報告があった。

4. 外国人客員研究員の受け入れについて

学部長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

また、今井委員から研究室は博物館を予定している旨報告があった。

5. 国際資源学部就職支援体制について

学部長から、資料5に基づき学部の就職関係の委員会を立ち上げなければならない旨説明があった。また、委員会名を「就職委員会」、委員長に「宮本教授」を指名したい旨提案があり、審議の結果、了承された。

なお、委員長を除く委員については各コースから教授1名を今月中に推薦されたい旨依頼があり、任期は2年とすることが確認された。

6. 平成27年度鉱業博物館研究員について

学部長から資料6に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

7. 秋田大学国際資源学部規程別表の一部改正について

学部長（教育学生委員長）から資料7に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、骨子の概要の（3）について、記載を「資源地域研究（中南米）を資源地域研究（オセアニア）に科目名称を変更」に修正することとなった。

8. 研究生入学願について

学部長（教育学生委員長）から資料8に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

9. 新入生ガイダンス及び在學生ガイダンスについて

学部長（教育学生委員長）から資料9に基づき、新入生ガイダンス及び在學生ガイダンスの実施内容等について説明があった。

また、在學生に対して海外資源フィールドワークの概要等について説明会を開催した方が良いのではないかとの意見があり、次年度後期の始めに開催することとなった。

続いて学部長から、専門科目を英語で実施することについての調査を教育学生委員会において実施されたい旨指示があり、TOEICの結果がでたら早急に教育学生委員会を開催して検討することとなった。

10. 任期満了となる部局長等に係る次期候補者の推薦について

学部長から資料10に基づき、附属図書館長に安達教授、国際資源学教育研究センター長に今井亮教授を推薦したい旨提案があり、了承された。

11. 全学委員会等の委員の推薦について

学部長から資料11に基づき説明があり、委員の交代がある場合は事務まで連絡されたい旨依頼があった。

また安達委員（資源政策コース長）から、資源政策コースから選出されている教育学生委員会委員を安達教授から縄田教授へ、環境委員会を三宅教授から内田教授に変更する旨報告があった。

12. 平成26年度第10回教育研究評議会報告

学部長から、資料12により第10回教育研究評議会の報告があった。

13. その他

1) 国際資源学教育研究センター主催シンポジウムの開催について

安達委員（国際資源学教育研究センター長）から、ICREMERシンポジウムを席上配布資料のとおり開催する旨報告があった。また、学部の教員及び学部学生に周知したい旨提案があり、了承された。

2) その他

- ① 学部長から、4月より学部選出の評議員が2名になることに伴い、副学部長も2名体制とすること及び同候補者を柴山教授としたい旨の報告があった。
- ② 学部長から、工学資源学研究科において実施していた大学院の資格審査の結果について、◎又は合と判定された教員のみに親展で通知する旨報告があった。
- ③ 事務長から、2月17日に学部長室及び事務室が教育1号館に移転する旨報告があった。
- ④ 宮本委員から経営学分野の教員再公募の結果について、適任者がいなかったため再々公募することとなった旨報告があり、公募要領についてはコースで検討した上、本会議に提案することが確認された。

以上